

アダプテッド・スポーツ

科目責任者 枝 伸 彦
学年・学期 1 学年・1 学期

I. 前 文

医学教育においては、「人の命に深く関わり健康を守るという医師の職責を十分に自覚し、多様性・人間性を尊重し、利他的な態度で診療にあたりながら、医師としての道を究めていく」（参照：医学教育モデル・コア・カリキュラム）というプロフェッショナル教育が重要とされている。本講義では、障がい者や高齢者を含む全ての人々が参加して楽しむことができる「アダプテッド・スポーツ」について知識を深め、医師を志す者として、全ての人々の健康を守る上でのスポーツの役割について考察する。

※実習中心の講義のため、受講者数の上限を15名とする。

II. 担当教員

講 師 枝 伸 彦（基盤教育部門）

III. 一般学習目標

運動やスポーツを実施する上で、個々の発達状態や身体の状態に適合させる（adapt）ことの重要性を理解し、実践できる能力を養う。また、グループワークやスポーツ活動を通して、コミュニケーション能力・リーダーシップ・協調性の育成を図る。

IV. 学修の到達目標

- 1) 障がい者や高齢者の特性を理解する。
- 2) 運動によって得られる健康効果および社会的効果を理解する。
- 3) 運動実施における個々の特性への適合方法を習得する。
- 4) 障がい者や高齢者におけるリスクマネジメントを習得する。
- 5) 積極的なコミュニケーションを通して、チーム医療に必要な能力を育成する。

V. 授業計画及び方法 * () 内はアクティブラーニングの番号と種類

- (1: 反転授業の要素を含む授業 (知識習得の要素を教室外で済ませ、知識確認等の要素を教室で行う授業形態。)
2: ディスカッション, デイバート 3: グループワーク 4: 実習, フィールドワーク 5: プレゼンテーション
6: その他 空欄: 該当なし)

回数	月	日	曜日	時限	講 義 テ ー マ	担当者	アクティブ ラーニング
1	5	13	水	5	アダプテッド・スポーツ概論	枝 伸 彦	2
2		20	水	5	アダプテッド・スポーツ実習①「キンボール」	枝 伸 彦	3.4
3		27	水	5	アダプテッド・スポーツ実習②「シットイングバレーボール」	枝 伸 彦	3.4
4	6	3	水	5	アダプテッド・スポーツ実習③「インディアカ」	枝 伸 彦	3.4
5		10	水	5	アダプテッド・スポーツ実習④「ボッチャ」	枝 伸 彦	3.4
6		17	水	5	アダプテッド・スポーツ実習⑤「ブラインドスポーツ」	枝 伸 彦	3.4
7		17	水	6	アダプテッド・スポーツの医学的考察	枝 伸 彦	5

VI. 評価基準（成績評価の方法・基準）

以下のとおり成績評価する。（ ）内は評価の割合。

授業態度・出席（60%）、レポート課題（40%）

VII. 教科書・参考図書・AV資料

必要な資料等は適宜配布する。

VIII. 質問への対応方法

随時、受け付ける。（E-mail: n-eda@dokkyomed.ac.jp）

IX. 卒業認定・学位授与の方針と当該授業科目の関連

*◎：最も重点を置く DP ○：重点を置く DP

ディプロマ・ポリシー（卒業認定・学位授与の方針）	
医師としてのプロフェッショナリズム 幅広い教養、利他の精神、医師に求められる品格を身につけ、豊かな人間性を育み、他の医療者と協調して、多様な価値観を尊重する全人的な医療を実践できる	○
能動的学修能力 医学知識・技能を主体的に学び、情報・科学技術を活用して、生涯にわたって自ら問題を発見し、解決することができる	◎
地域医療の理解 地域社会における医療の役割と、その中核を担う意味を理解できる	
国際性 国際社会における医学・医療の動向や課題を理解し、課題解決に向けて行動することができる	
リサーチマインド 研究活動における積極的な創造・発信に挑み、医学・医療の進歩に貢献することができる	○

X. 課題（試験やレポート等）に対するフィードバックの方法

レポート課題について、適宜、フィードバックを行う。

XI. 求められる事前学習、事後学習およびそれに必要な時間

事前学習（30分）：各アダプテッド・スポーツ種目の対象と実践方法について情報収集する。

事後学習（30分）：各アダプテッド・スポーツ種目を体験した上での競技特性や活用方法に関する自身の考察をまとめて提出する（LMS）。

XII. コアカリ記号・番号

PR-02-01-01, PR-02-02-01, PR-02-02-02, GE-04-01-04, SO-04-01-02